

# しゃくなげ



DENSOKU  
No. 494号

発行日 2021年6月15日  
発行 株式会社でんそく

## 感謝状

令和3年5月25日、関西電力送配電株式会社 北陸電力本部 電力本部長 齊田 茂様より感謝状をいただきました。これは新北陸幹線における着雪防止対策にあたり、新愛本変電所の変圧器盤の製作から現地施工に至る一連の工事を限られた期間の中で安全に完遂したことによるものです。



## コロナと共存「with コロナ」で、緩やかに乗り切ろう

常務取締役 金田 俊文

「新型コロナウイルス」が全世界で蔓延し、私たちを取り巻く生活環境や働き方が大幅に変化しています。感染防止の観点から「3密」を避ける対応により、働き方のシフト、経済活動も大きく変わり、数多くの難題に直面し、「マネジメントの方法」まで企業活動に影響を与えています。新様式での対応その現実の中で、一体私たちは何をすべきででしょうか。

当社においても周囲を取り巻く外部変化は、予測不可能な変化と突然に起こる変化に追従していかなければならない。我々は変化の実態と方向性を常に把握していくことが重要であります。

コロナウイルスの感染拡大にまだ終わりは見えず、今後もしばらく続くと予想されます。コロナウイルスが克服されても、以前のような生活様式には戻らない。コロナ以前の営業スタイルにこだわると、営業活動や企業業績に大きな影響から経営維持に支障を与える可能性は高いと感じています。社会構造が変わる中、ビジネス変革は待たなし。アフターコロナに業績

アップできる営業スタイル（新生活様式）を確立し、柔軟な方向転換を行って、お客様へは高品質なサービス（新たな価値提供）を、効率的にご提案していかなければなりません。

この危機的状況下において、知恵と工夫を凝らし、今こそデジタル変革「DX」を推進して、職場におけるテクノロジーの「IT・IOT」の技術革新ツール「新手法や知識を習得」して「業務の効率化・生産性の向上」に取り組み、絶対に乗り切るという気概を持ち、経営計画に参加していきましょう。単なるウイルスを撲滅するのではなく、共存意識で「コロナ警戒がマンネリ化」することなく、「3密」の回避・手洗い・マスク着用を徹底し、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲・家族を含めて感染を拡大させないことが重要であります。そしてアフターコロナ時に業績アップできる企業活動を続けられる備えを、皆さんと一緒に今から真剣に考えて取り組んでいきましょう。また、今夏も熱中症対策を怠らず健康管理を行い前向きで乗り切りましょう。

## 発電所監視装置

製造部 丸岡 晶

昨年度末にかけて石川県羽咋郡志賀町にある日本海発電（北陸電力）殿の福浦風力発電所に発電所監視装置を納入しました。

風力発電とは、風の力を利用してプロペラを回し発電する方法です。発電コストが低いことなどから、再生可能エネルギーの中でも注目されている発電手段の一つです。今回は福浦風力発電所にインターネット回線

(福浦風力発電設備 監視システムシステム画面の一部) インターネット回線

を整備し、パソコン、シーケンサの設備を設置しました。これにより遠隔からパソコンやスマホを使ってWeb画面での状態監視（風車の稼働状態や発電所の発電量など）や、パソコン画面からの設備操作を可能にしました。又、メール機能を使って警報発信やデータベースに発電所情報の記録保存も行っています。まさにIoTですね！現地工事では盤改造等と思うように行かないこともあり、作業が深夜になることもあり。年度末で忙しい中、お客様や社員の皆さんの協力があり、なんとか無事に工事を完了することができました。現在は同様の装置を福井県の三国風力発電所に納入予定です。前回の学びを生かし、より良い装置を構築したいと思います。

## 新入社員研修

～本社工場実習を受けて～



G. Y



本社工場の実習では、実際に工場内の機械を操作するといったことはほとんど行いませんでしたが、工場内の見学をさせていただいたときに金型などの機械の説明を受け、大まかな使用方法や動作を見させていただきました。

私は高校で電気科に所属していたので、電気に関する知識や実習などの経験は多少なりともありましたが、電気機器以外の機械はあまり使用したことがなかったので、とても新鮮でした。防塵マスクや耳栓を着用して工場に入るといったことは学生時代の工場見学では基本的に少なく、いい経験ができました。板金製作課では3D・CADで作成した図を金型で読み込んで本立てを作り、組立課では端子の圧着作業やはんだ付け、シーケンス制御を使用した簡易的な配電盤の製作など、高校の実習で基礎的なことは学びましたが、実際にやるとなると苦労するようなことがたくさんありました。

慣れない作業が多く、大変ではありましたが、本社工場での実習を受けてこれからの仕事に必要な知識を学ぶことができました。実際に仕事で活かせるかどうかは自分次第であるため、今まで以上に努力しますので、ご指導のほどよろしく願いいたします。

## 私のおススメの店



### 麺屋豚道場 ぶた壱



「好きな食べ物はなんですか？」と聞かれれば「ラーメンです！」と即答出来るほど私はラーメンが大好きです。そんな私がおすすめするラーメン店を1店紹介したいと思います。

それは二郎インスパイア系ラーメンが美味しい「麺屋豚道場 ぶた壱」です。

二郎インスパイア系？と聞きなれない人がほとんどだと思いますが、濃厚で濃い味付けの豚骨醤油のスープに、大量の麺と茹でた野菜が盛り、無料でニンニクなどもトッピング出来る、好きになった人は何度も通ってしまうほどの癖のあるラーメンです。

店舗はコロナ対策もされており店内で食べることも出来ますが、テイクアウトにも対応していますので、興味をそそられた方はぜひ1度食してみたいかがでしょうか。(N. T)

## 社内研修会

～新技術の知識修得～



製造部 A. N



社内研修会として、2021年4月21日に第1回テーマ「AIとは？」、2021年5月12日に第2回テーマ「IOTとは？」の内容で中村真二さんを社内講師として開催されました。

「AIとは？」の回では、AIの歴史・ディープラーニング・AIの応用事例・当社での活用案・AI浸透によってなくなる（生まれる）仕事等について話されました。「当社での活用案」では、侵入警戒装置は、監視カメラとセンサの組み合わせで侵入検知を行っていますが、監視カメラにある機能のAI画像認識機能で人物か否かをAIが判断できる話がありました。AI機能の使用で検知精度があがればより良い製品に仕上がると思いました。「IOTとは？」の回では、IOTの概要、工場での実現方法、当社での実用例・今後の展開等について話されました。「IOT」については、セキュリティ等の関係で他所への導入は難しいと考えていましたが、「当社での実用例」の事例で以前に私が関わった仕事でもすでに導入済であることがわかりました。

社内研修会は、第3回「5G」・第4回「DX」と続くそうですが、「当社での…」の可能性について注目したいと思います。



## ～編集後記～

アジサイの美しい季節になりました。花屋さんでもアジサイの鉢植えがたくさん並んでいますね。アジサイの原産地は日本で、日本の野山に自生する原種のガクアジサイがヨーロッパにわたり、観賞用に改良されて、広く世界中に広がったそうです。私達が思い浮かべる、丸く手まりのように咲くアジサイは「セイヨウアジサイ」と呼ばれ、ヨーロッパで改良された園芸品種だそうです。私は、てっきり丸く手まりのように咲くアジサイが原種なのかと思っていました。ここ数年は母の日ギフトとしてもアジサイが人気で、毎年新品种が続々と誕生しています。去年発売された日本生まれの新品种「ラグランジアブライダルシャワー」は「これがあじさい？」と思うくらい素敵なあじさいです。枝の先端にだけ花が咲くこれまでのあじさいとはちがって、すべての枝につく芽に花がつくため、これまでのアジサイに比べて6倍以上の花を咲かせてくれます。富山県の花屋さんにも並んでいるそうですよ。(K. A)